

事業報告書

団体名	小原地区振興会
代表者役職・氏名	会長 岩松義則
事業名	小原地域ボランティア送迎「おらいのくるま」
実施した事業の内容 ・活動内容 ・実施日時 ・場所 ・参加人数 等	<p>小原地区の交通弱者に対する課題解決のため、地域内交通の学習会を1回、地域内交通を考える会を4回開催。地域内交通を考える会の中で運行計画を作成し、おらいのくるま号の実証実験を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1回小原地区の移動の考える会学習会 2023年6月2日13時30分から小原公民館 参加人数：27人（予定人数27人） ・第1回小原地区の地域内交通を考える会 2023年7月20日9時30分から小原公民館 参加人数：12人（予定人数15人） ・第2回小原地区の地域内交通を考える会 2023年8月31日14時から小原公民館 参加人数：13人（予定人数15人） ・第3回小原地区の地域内交通を考える会 2023年10月24日13時30分から小原公民館 参加人数：10人（予定人数15人） <p>おらいのくるま号実証実験2024年1月16日から3月26日まで 延べ乗車人数：28人（予定人数42人） (詳細については、別紙運行計画・日報参照)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第4回小原地区の地域内交通を考える会 2024年3月13日13時30分から小原公民館 参加人数：15人（予定人数15人） <p>この事業にかかる地域住民の参加人数合計 105人（予定人数129人）</p>
事業の成果や効果	<p>学習会を通して地域内交通の先進事例を知ることができ、小原地区の実情に合った地域内交通を運行したいという機運が高まった。小原地区の地域内交通を考える会を発足し、講師に支援をいただきながら会員の話し合いで運行計画を作成した。作成した運行計画に基づきおらいのくるま号の実証実験を約2か月行った。利用者からは、「家まで来てくれて助かる」や「安心して乗車できる」などの声があった。また、利用登録者に対してアンケートを取り、よりニーズにあった運行計画の見直しについて話し合いを行った。</p>
今後における事業展開	<p>来年度も引き続き実証実験を行い、見直しを行い本運行に繋げたい。</p>

【地域づくり団体等→まちづくり協議会等】

様式第V号④

収 支 決 算 書

団体名 小原地区公民館

1 収入の部

(単位：円)

項 目	予算額	決算額	摘 要
人と地域が輝く未来共創交付金	155,000	154,500	
自己資金	0	656	
計	155,000	155,156	

2 支出の部

(単位：円)

項 目	予算額	決算額	うち交付金対象額
広告宣伝費	26,000	25,300	25,300
任意の自動車保険	21,750	20,300	20,300
安全運転者講習費	55,000	55,000	55,000
車検時の法定費用	12,000	9,000	9,000
消耗品費	39,830	45,136	44,480
通信運搬費	420	420	420
計	155,000	155,156	154,500